



NO. 779
 発行
 13・3月20日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者
 関川 和彦
 編集責任者
 教 宣 部

職場の要求実現へ

119回 拡大地方委員会 開く

第119回拡大地方委員会が2月23日13時より地本事務所2階で開催されました。

加藤組織部長の開会あいさつでスタートし、議長に新野委員を選出しました。

関川委員長がJAL原告団の主催の学習会出席のため、上石副委員長が地本を代表してあいさつしました。

各委員など15名から職場の問題点や組織拡大についての発言がありました。拡大地方委員会は、15時30分頃に終了し、その後、出席者全体で懇親会を行いました。



15名から発言

●地域では各労組、団体と春闘共闘を発足し取り組んでいる。5月のメーデーの取り組みにもつながっている。
 ●今冬は例年より雪は少なかった。保守用車の運行は秋田と共同で使用している。酒田より秋田が優先される。支社間の交渉など密にして欲しい。
 ●投排雪列車はプロパー社員のみが業務を行っている。



る。保守用車は酒田所属で秋田に貸している。

上石副委員長 あいさつ

安倍政権発足で、TPP・沖縄基地問題などアメリカと交渉している。憲法改正の手続きなど強行しようとしている。

組織強化・拡大など中心に多くの課題がある。組織拡大は緊急な課題、全体が取り組んでいかなければならない。組織拡大・強化について対策を強化し、みんなで頑張っていかなければならない。

並行在来線の問題など1月22日に中味の無い経営内容など出された。その関係で2月23日緊急対策会議が開催されている。

3月2日の並行在来線問題のシンポジウムが富山で開催される。

みんなで真摯な議論を求めろ。



●検修の外注化で昨年10月1日に新潟鉄道サービスへ出向した。施策が急ぎすぎたと感じていたが現在少し落ち着いた。しかし問題点が多い。
 ●臨雇から会社の設備改善について相談された。試験を受けていないが、主任（作業責任者）発令がされた。

●分会では、JR以降後1名拡大した。職場では平成採が多くなってきた。ダイヤ改正の提案が遅い。早めの提案を求める。全体が要求で団結しよう。

●組織拡大行動について、地本で具体的な行動提起を示して欲しい。具体的に何を提起していくのか。

●幹線では団交を実施しE1系からE2系に置き換えている。東北で運行している車両を交換が実施されている。要員が足りない場合は他から補充している。

●教育が遅れている。業務についての対応がおろそかになっている。会社側から具体的な提案内容・計画が示されていない。
 ●新潟地本の組織のあり方について検討を。地本と県支部とエリアが同じだ。



●一括和解以降、拡大行動の取り組みや昇格・昇進試験の受験の結果状況など、どのようになっているのか。
 ●新潟駅の8番・9番線利用について、乗降客が非常に混雑している。利用者は不便を感じている。幹線からの乗り換えについて間に合うのか。

●方針書の内容について地本独自の見解を載せること。ガレキ処理問題、JRは率先して輸送している。放射能の拡散についてどうなのか。合理化・合理化反対など国労の方針書から無くなってきた。



●並行在来線問題、気動車127系が「ときめき鉄道」の運行計画に入っているのか。現在、長岡でスノープラの改良中で今月試運転予定だ。129系の新型も製作、上越線にもワンマン運転か。



